

小中一貫教育				
種別 比較項目	義務教育学校 (施設一体型)	小中一貫型小学校・中学校		
		施設一体型	施設隣接型	施設分離型
校長	1人	小中各1人		
教頭・副校長	副校長3人 (1人は総括担当)	小中教頭各1人		
養護教諭	2人	小中各1人		
事務職員	2人	小中各1人		
(計)	8人	8人		
修業年限	9年 (前期・後期課程)	6年(小学校)と3年(中学校)		
職員組織	一つの組織	小中ごとに組織 (学校運営協議会の合同設置・校長の併任・全教職員の併任等、一貫教育を担保する組織運営上の措置を実施)		
教員免許	原則小中免許を併有	各校種に対応した免許を保有		
教育目標の共有	9年間を見据えた目標設定(系統性・体系性の確保)			
教育課程の編成	弾力的な対応可能 (設置者の判断で可)	弾力的対応可能 (設置者判断可)	△ (調整が難しい)	△ (調整が難しい)
学年の区切り (4-3-2等)	弾力的な対応可能 (設置者の判断で可)	弾力的対応可能 (設置者判断可)	× (別校舎で困難)	× (別校舎で困難)
小学校での 教科担任制	○	○	△	△
小学生(高学年)の 部活動	○	○	○	×
新教科の創設	○	○	○	○
指導内容の移行等	○	○	○	○
教員の相互乗入	○	○	△	×
教員の合同研修	○	○	○	△
教員の情報共有	○	○	△	△
教員の負担感	△(新体制への対応)	△(新体制対応)	○	○
集団規模の維持	○	○	△	×
異学年交流	○	○	△	△
地域との連携交流	○	○	○	○
行事等の節目創造	○	○	○	○
人間関係の固定化	△	△	△	△
中1ギャップ解消	○	○	△	△
日課・行事等	△(調整が必要)	△(調整が必要)	○	○
施設・校庭の共用	△(調整が必要)	△(調整が必要)	△(調整が必要)	○
中学校給食	○	○	△(建設費用)	×(建設費用)
登下校の安全	△	△	△	△
非常時の引き取り	○	○	○	△
転出入者への配慮	△(未履修対応)	△(未履修対応)	○	○
敷地(真鶴町内)	○	○	×	○
経費(建設・維持)	○	○	×	×
近隣他校・既存研究組織等との連携	△(県西地区初)	○	○	○
近隣市町の状況	△(相模原市ほか)	△(沼津市)	×	△(二宮町ほか)
設置手続き	市町村の条例	市町村教育委員会の規則等		

